

## 幸せとはなんだろう

私どもの施設を利用される方々の幸せとはなんだろう、ということについて今回は考えてみたいと思います。

長生きすることは幸せなことで病気や体力衰退でやりたいことも出来なくなったり老い先短くなることはしあわせでは無いのでしょうか。いやそうではないことはわかるでしょう。それでは明日にも死んでしまう方は幸せではないのでしょうか。これもそうではないのです。ひとの幸せとは心の安寧であり、安心・満足のうちに生き切ること、納得と言い換えても良いでしょう。幸せは、何かの長い・短い、多い・少いでは言い表せないのです。

介護者をはじめ、いろいろな方々がひとの幸せを願って努力されています。この施設のスタッフももちろんそのうちの一人ですが、今回は大変参考になるお二人の取り組みをご紹介します。

お一人はガン哲学外来を実践していらっしゃる順天堂大学医学部病理学教授の樋野 興夫先生です。ガン患者さんと対話する際のこつは、「いかにも暇げな風貌」と「偉大なるお節介」がこつだと話されています。そして、長い短いにかかわらずその方は尊厳・安心を持って人生を生き切ることができるようになる、とおっしゃっています。これはインターネットで簡単に見つけれられますので機会をみつけてご覧下さい。

もうお一人については最近の朝のラジオ番組でのお話です。先日7月2日(木)5:00AM～「マイあさラジオ」のうちの5:37AM～数分間、「健康ライフ」の時間があります。「めぐみ在宅クリニック院長 小澤竹俊さん」のお話です。お二人ともにそのキーワードは「希望」ないし「夢」です。勉強になりますので、これは録音を直接お聞き頂きます。———録音再生。

思わぬ所に幸せの青い鳥はいる、ということですね。

以上です。

老人保健施設一羊館の理念  
利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

